

8 人々のくらしをよくするために

根室市には、総合文化会館や図書館、青少年センターなど、みんなのための大切な施設しせつがたくさんあります。

これらの施設は、わたしたち根室市民の「住みよいまちに」という願いによってつくられたものです。

これまで学習してきたように、ごみがきちんと集められたり、下水道せいびが整備されるようになったりと、だんだん住みよいまちになってきました。

このように、わたしたちのまわりは少しずつくらしやすくなってきました。市では、いろいろな計画を立てながら、住みよい根室市をつくる仕事を進めています。

(1) 人々の願いと市役所・市議会ぎかい

「安全で、安心して遊べる公園がほしい。」「話し合いやサークル活動をする部屋がほしい。」など、わたしたちのまわりには、いろいろな願いがあります。



根室市役所

しかし、市の人たちの願いだけでは、決して実現するものではありません。市の人たちの願いが集まり、それを実行するのが市役所です。

① 市 役 所

市役所には、市長をはじめとして、大ぜいの人たちがそれぞれの係かかりに分かれて、仕事をしています。道路を整



備したり、学校たを建てたり、総合文化会館などの市の施設しせつを建てたりしています。住みよい市をつくるため、いろいろな仕事ぶんたんを分担しています。

市役所の仕事

② 市 議 会

市の人たちの願いは、市議会で話し合って決めます。市長や市議会の議員は、せんきよによってえられます。市の仕事の先頭に立つ市長は、仕事の計画を立て、そ



れを市議会に提案します。議員は、出された計画を市の人たちの立場になって考えます。

市議会の様子

市議会で決まると、市役所では、それをするためのくわしい計画を立てます。

市役所が仕事をするためには、たくさんのお金がかかりますが、そのお金は、市民がおさめる税金^{ぜいきん}や、国・北海道からのえんじょでまかなわれます。

(2) 総合文化会館などの施設

① 根室市総合文化会館（根室市公民館）

根室駅から東の方へ歩いて行くと、根室市総合文化会館があります。総合文化会館に、映画を見に行ったり、音楽の発表会に出た人もいることでしょう。



ふだん総合文化会館がどのように利用されているのか、くわしくわからない人もいると思います。

そこで、総合文化会館の利用の仕方を調べるための計画を立てましょう。



根室市総合文化会館

総合文化会館たんけん計画

○調べること

- ・どんな設備や部屋があるか
- ・部屋ではどんなことをしているか
- ・どのような人たちが利用しているか

○調べ方

- ・グループごとにたんけんする
- ・部屋を利用している人に聞く
- ・文化会館の人に聞く

○まとめ方

- ・発見したことをたんけんノートに書き，あとでノートにまとめる

○もちもの

- ・たんけんカード
- ・ひっき用具
- ※テープレコーダー
- ※カメラ

みんなの総合文化会館

げんかんを入ると、案内板^{あんないばん}があります。その日に、どの部屋で、どんなことが行われるかが書かれています。

1階 本日の行事 備		
室名	時間	内容
大ホール		平成28年度 総合文化祭 即興舞踏大会開演の30分前 4階中庭に設けられた展示場
小ホール		
多目的ホール		
リハーサル室		旭声会
婦人活動室		あけの和歌草花さくのかい
幼児室		衆技お遊戯中
工芸室		
エントランス コリドー	9:00 12:00	祝電送る週間ハジメ
美屋(2.3)	11:00 12:00	華道名探偵 石川流 津軽音頭 茶会 茶会 茶会

案内板

また、^{かんない}館内には次のような設備があります。

◎大ホール



- たくさんの方が一度に入ることができる。
- 音をよく聴かせるために、かべや天井が変わった形をしている。
- ものすごく広い。

◎幼児室



- 小さい子どもたちの遊び場
- 積木やおもちゃの車
- お父さん、お母さんたちも安心して利用できる。

◎実習室



- ガスや電子レンジ、水道など、料理をするための設備がととのっている。
- お皿やほうちょうなど、道具もたくさんある。
- たくさんの方が一度に利用できる。

② 根室市図書館

学校で調べた
いことがあつて
も、図書室にそ
の本がないこと
があります。そ
んなときは、
根室市図書館へ



根室市図書館

行くと自分の見たい本があります。図書館へ行って、図書館のことについて調べてみましょう。

図書館には、本がたくさんありました。しかし、自分の探している本がどこにあるのかわかりませんでした。そこで、図書館の人に探している本がどこにあるのか聞いてみました。そして、図書館司書ししよのみなさんの仕事についても聞いてみることにしました。

《図書館司書の方のお話》

Q 図書館司書ってどんな仕事ですか？

「図書館司書は、図書館全般ぜんぱんの仕事を行います。カウンターで本の貸し出しや返却へんきやくを受け付けたり、本を探したり、調べ物のお手伝いてつだをしたりします。何かぎもんに思ったことがあったら、ぜひ図書館に来てください。ほかにも、お話会やみなさんの学校へ行って読み聞かせをします。さらに、図書館に入れる本を選んで、整理せいりをして貸し出ししています。」

Q 本はどのように探したらいいですか？



タッチパネル

「図書館の入り口の近くに、タッチパネルがあります。これを使えば^{だいめい}題名や作者、キーワードなどで本を探すことができます。もし、使い方がわからなかったり、本が見つからないときは、いつでも言ってください。」

図書館を利用している人

図書館には、本を読んでいる人、親子で来ている人、調べ物に来ている人、本を探しに来ている人、新聞やざっしを見ている人など、いろいろな人がいました。



児童図書コーナー

図書館にはたくさん本がありますが、本だけではなく、ゆっくり本を読むところや、ビデオやDVDを視聴^{しちょう}できる場もありました。



絵本コーナー



AVコーナー

大地みらい・あすなるⅣがみんなのところに

図書館バス「あすなる号」には、約2,000冊もの本や紙芝居、ビデオを乗せて根室の町中を周り、本の貸し出しを行っています。



③ 根室市青少年センター

根室高等学校のとなりに、根室市青少年センターがあります。この広い体育館では、スポーツの練習をしたり、大会が開かれたりしています。総



根室市青少年センター

合文化会館（公民館）は文化的なくらしを豊かにする施設ですが、青少年センターは運動のための施設です。こ



ミニバレー大会

こでは、スポーツを楽しんだり、市民の健康維持のためのトレーニングセンターとしても使われています。

青少年センターのとなりに、根室市営球場があり、多くの人に利用されています。

④ 根室市温水プール



根室市温水プール

根室市総合文化会館の南側に、根室市温水プールがあります。小学生は、毎年体育の水泳学習で利用しています。競泳用の25mプール，低学年用の17mプール，幼児用の10.5mプールの3

種類があります。

また、トレーニングルームがあり，市民の健康維持のためにも利用されています。

⑤ 根室総合運動公園

北斗小学校から見て南西の方向に、根室総合運動公園があります。テニスコート，河畔グラウンド，パークゴルフ場，サッカー・ラグビー場，冬に利用するスケートリンクなどがあります。



根室総合運動公園



根室市スケート大会

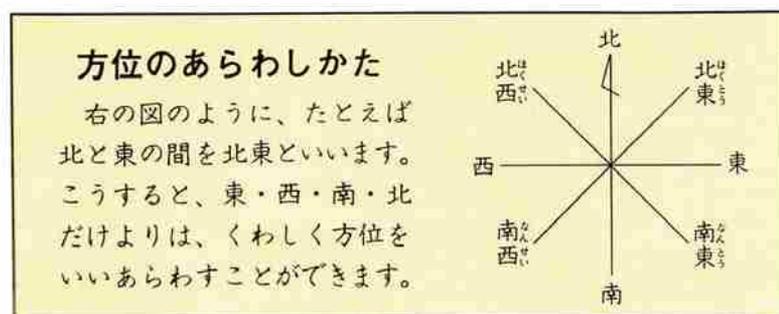
9 わたしたちの北海道のまちづくり



日本の地図を見ると、わたしたちが住んでいる北海道は北の方にあります。

日本は、東京都、北海道、大阪府、^{おおさか ぷ}京都府と43の県でできています。これを「47都道府県」（1都・1道・2府・43県）といいます。

わたしたちが住む根室は、北海道の東の方にあります。北海道には、約170の市町村があります。根室のことだけでなく、ほかの市町村の様子についても調べてみましょう。



(1) 北海道の農業のさかんな地いきのうぎょう



小麦畑



タマネギの収穫

北海道の農業の様子



田植え



ビート (てんさい)



北海道には、広い平野ほんちや盆地、台地があり、平地にめぐまれています。ですが、冬の気温がとても低いなど、きびしい自然環境かんきょうの中にあります。

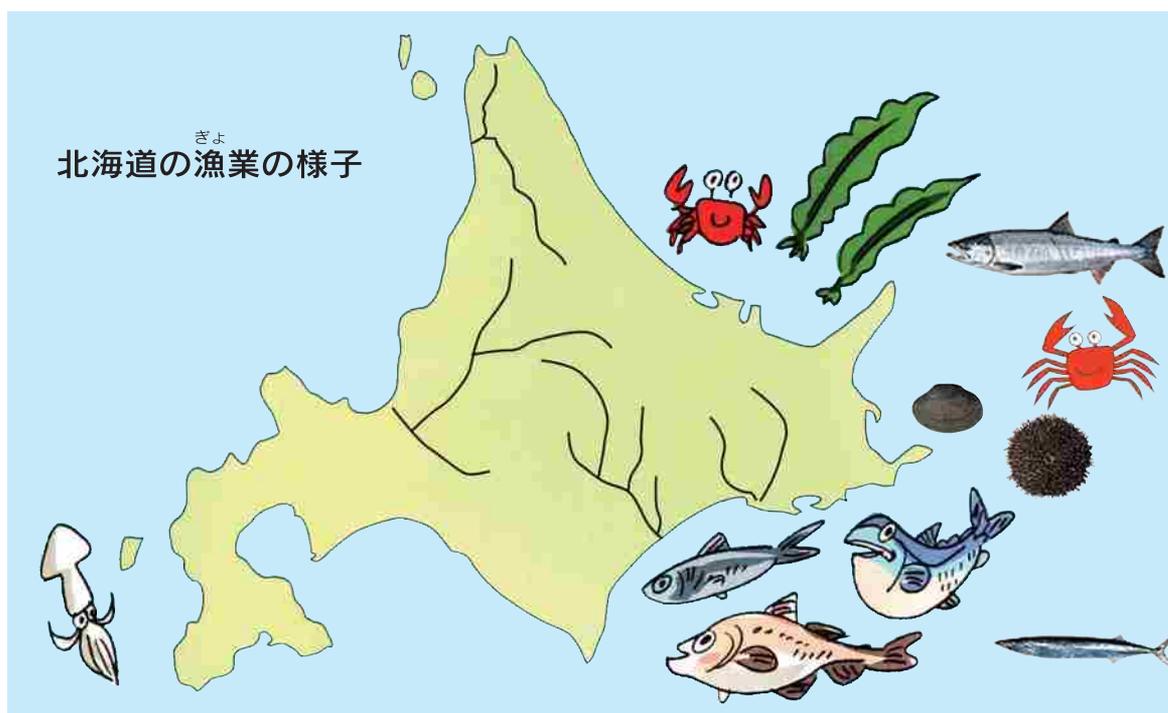
しかし、生産者の様々な工夫くふうによって、作物がつくられています。地いきの気候や立地条件じょうけんなどに合わせた土地利用型農業や、近代的な農業技術ぎじゆつを取り入れ、安定した生産を続け、稲作、畑作、酪農いなさく、肉用牛にくようぎゅうなどを中心とした北方型農業ほっぽうがたなどが行われています。

耕地面積は、115万haと全国の25%を占めています。
（平成24年度）特に、ジャガイモや小麦、テンサイなどの生産量は日本一です。また、生乳生産量は全国の約40%をしめています。

稲作は、空知や上川を中心に行われ、「ゆめぴりか」や「ほしのゆめ」といった米がつくられています。畑作は余市町や仁木町の果樹、オホーツクのタマネギ、トウモロコシ、十勝の小豆等の豆類なども有名です。幌加内町のソバ、名寄市のアスパラガス、和寒町のカボチャ、音更町のニンジンなどは生産量日本一です。

酪農は十勝や釧路、根室を中心に行われています。根室管内は牧草地の面積が道内でも広く、特に別海町では酪農がさかんに行われています。

(2) 北海道の漁業のさかんな地いき



北海道は日本海，太平洋，オホーツク海の3つの大きな海にかこまれ，大小200以上の漁港で，いろいろな



出漁前の準備

種類の魚が水あげされます。とれる魚の量もたくさんあり，北海道の漁業生産量は全国の約4分の1をしめています。また，漁業の仕事をしている人も日本一です。わたしたちの住む根室市は，北海道

で一番水あげ量が多く，さんまやこんぶ，ホタテ，カニなどが水あげされます。

ほかの漁港でも，イワシやサケ，マス，スケソウダラ，いか，ホッケなどたくさんの種類の水産物が水あげされ



いかつり船

ています。特に，ホッケやスケソウダラなどは，全国の90%以上を北海道で水あげしており，こんぶ，ホタテ，サケなども全国で一番とれます。また，とれた魚を加工して，全国各地につくった製品

を輸送しています。

根室市のさんまやサケを使ったさんま・サケのフレークやかんづめ，紋別市の水産物をすり身にしてつくったあげかま，函館市でとれるいかを使ったチーズいかなど，ほかにもいろいろな種類の製品が全国に向けて，販売されています。

(3) 北海道の工業のさかんな地いき



北海道には、いろいろな工場があります。釧路市のパルプ・製紙工場、苫小牧市の自動車部品工場、室蘭市の鉄鋼、セメント工場、千歳市の食品工場、札幌市のビール・乳製品工場などです。各

地の工場で、地いきの特色に合わせた工業製品がつくられています。

特に、釧路市・室蘭市・苫小牧市の3都市は工業が発達していて、北海道の三大工業都市と言われています。また、苫小牧市・室蘭



釧路市の製紙工場

市・千歳市の3つの工業が発達した都市をJゾーンと言います。工業がさかんな都市は、海岸ぞいなどの交通の便利なところに多いこともわかります。



旭川市の家具

ほかに、各地に工場があります。函館市の造船工場、旭川市の家具工場、帯広市の菓子工場などです。

北海道の工業製品は、地元でとれる豊富な食材を使った食品工場や、自然豊かな森林・山地の木材を加工



菓子工場

する工場など多く見られます。農業や林業などと合わせて、工業が発達していることが考えられそうです。

(4) 北海道の交通の様子

北海道は、ほかの都府県よりも広大な面積を有しており、都市間の距離が長くなっているのが特徴です。それぞれの都市は、道路や鉄道などで結ばれています。



主な鉄道とフェリー

鉄道や道路は年々開発が進んでいます。道路では、高速道路が新しくつくられたり、道の整備が行われ、雪が降っても安全に通ることができるようになってきました。鉄道は、1988年に北海道と本州を結ぶ、青函トンネルが完成しました。これにより、悪天候で船や飛行機が使えなくても、人やものを運べるようになりました。

また、本州と北海道を新幹線で結ぶ計画も進んでいます。



主な国道・高速道路，空港

新青森駅と新函館北斗駅間を結ぶ北海道新幹線は、2016年（平成28年）3月に開業する予定です。

さらに、新函館北斗駅と札幌駅間も2012年度（平成24年度）に認可・着工され、2035年度までの開業が予定されています。

また、飛行機やフェリーを使った移動も行われます。飛行機は新千歳空港をはじめとして、たんちょう釧路空港、根室中標津空港など14の空港から、北海道の各都市や本州、海外へと短時間で行くことができます。フェリーは、苫小牧や小樽、函館などから乗ることができます。



たんちょう釧路空港

飛行機とちがいはかかりますが、多くの物資や人を運ぶことができ、ゆっくりと旅を楽しんだりできます。

(5) 北海道の特産物や観光の様子

北海道には、多くの観光地や特産物があります。

わたしたちの根室には、風蓮湖や納沙布岬、

根室車石などの『根室十景』があります。花咲ガニやオランダ煎餅、エスカロップなども有名です。

北海道の中心都市である札幌市には、札幌ドームがあり、雪祭りなどが行われています。また、札幌ラーメンが有名です。

都市それぞれの特徴があります。全国的にも有名な観光地も多く、2005年に知床の自然が世界遺産として登録されました。



(6) 北海道のまちの様子

●釧路市

釧路市は、『釧路湿原』や『阿寒』の2つの国立公園をはじめとしたゆう大な自然にめぐまれたまちです。特別天然記念物の『タンチョウ』や、阿寒湖の『マリモ』などの世界的にも貴重な自然があります。

気候は1年を通してすずしく、冬は雪が少ないのがとくちょうです。夏でも20度にみたくない日も



釧路湿原国立公園



阿寒湖のマリモ

あり、25度以上の夏日も多くありません。6月から8月にかけては、霧が多く発生することもとくちょうで、『くしろ霧フェスティバル』も行われます。

また、酪農や林業などの産業も発達しています。特に、
広大な太平洋を生かしたさんまやニシンなどの水産業、
製紙やパルプなどの工業がさかんに行われています。

そして、全国で唯一の石炭^{ゆいいつ}鉱業所^{こうぎょうしょ}が操業^{そうぎょう}しています。

○人口：180,334人

○面積：1,362.75km²

○市の花：キンレンカ，エゾリンドウ，スズラン

○市の木：ハシドイ，エゾヤマザクラ，ナナカマド

○市の鳥：^{せいてい}制定されていない



北大通り



J R 釧路駅



「花時計」

●帯広市



帯広市は、十勝地方のほぼ中央に位置する都市です。明治16年に本格的な開拓がはじまり、碁盤の目のように道路がつくられるなど、計画的なまちづくりが進められてきました。

気候は内陸部に位置するため、夏と冬、1日での気温差がはげしいのがとくちょうです。1日の最高気温と最低気温の差は、平均10度くらいです。（*東京・札幌は約7度）夏は35度をこえる猛暑日になり、冬はマイナス20度をこえる真冬日になることもあります。

広大な十勝平野の自然を生かした農業が基幹産業となっています。小麦、ビート、ジャガイモ、あずき、大豆などの畑作や、牛やぶた、とりなどの酪農・畜産がさかんです。広い土地で、大きな機械を使って作物をつくります。

自然の恩恵をいかしてつくった、お菓子工場も多いのがとくちょうです。

- 人口：168,591人
- 面積：618.94km²
- 市の花：クロユリ
- 市の木：シラカバ
- 市の鳥：ヒバリ



十勝平野



ジャガイモ



小麦



ビート



スイーツ

いわみざわし
●岩見沢市

岩見沢市は、石狩^{いしかり}平野の東部にあります。市内には、石狩川に合流する支流^{しりゅう}が数多く流れており、橋の数も多くなっています。



気候は、日本有数の豪雪^{ごうせつ}地帯^{ちたい}です。国からも、特別豪雪^{ごうせつ}地帯^{ちたい}の指定を受けています。観測^{かんそく}史上、もっとも深い208cmの積雪も記録しています。

かつては、石炭生産と輸送のための鉄道^{はってん}で発展したまちです。現在では、水稲^{げんざい}作付面積^{すいとう}・収穫量^{しゅうかくりょう}で北海道1位、白菜^{はっさい}作付面積^{すいとう}・収穫量^{しゅうかくりょう}で北海道1位になるなど、農業が

主要な産業になっています。コメ，タマネギ，小麦なども多くとれます。また，^{かんたんさ}寒暖差の大きい気候が果物の生産に^{てき}適しているため，^{かじゅえん}果樹園なども見られます。こういった農業がさかんに行われているので，農業の仕事をしている人たちは，北海道でもトップクラスです。

- 人口：87,765人
- 面積：481.10km²
- 市の花：バラ
- 市の木：コブシ
- 市の鳥：ハト



りんご



ぶどう



イネ



タマネギ畑



「花き」のしゅうかく

おたる
●小樽市

小樽市は、石狩湾いしぬりに面していて古い昔から港こう湾都市として発展してきた都市です。歴史的な建物も多く、小樽運河うんがなど、観光地としても有名です。



気候は、夏はそれほど暑くはなく、30度をこえる日は平均5日ほどです。冬は、日本海側特有の気候で、北海道の中でも雪が多く降りますが、寒さはそれほどきびしくはなく、マイナス20度まで冷えこむことはほとんどありません。

観光業がさかんであり、小樽運河をはじめとして、銀鱗荘ぎんりんそうや練御殿にしんごてんなどの歴史的な建造物けんぞうぶつがあります。ガラス工芸品やオルゴールなども有名です。明治から大正時代、北海道の経済拠点けいざいきょてんだったため、運河沿いそに倉庫や銀行なども見られます。

- 人口：127,752人
- 面積：243.30km²
- 市の花：ツツジ
- 市の木：シラカンバ
- 市の鳥：アオバト



小樽運河



旧北海道銀行



ガラス工芸品



おたる潮まつり



五百羅漢像



鯨御殿

●札幌市



札幌市は、北海道で1番多くの人^{ちよう}が住んでい^{せいれいしていと}る都市です。北海道庁があり、政令指定都市にも指定されています。全国の市の中でも4番目の人口で、政治や経済の北海道の中心都市です。

市内には、路面電車や地下鉄が走っていて、交通が便利です。



市電（路面電車）

また、高速道路や鉄道、空港などの交通機関も整備され、北海道の各都市や全国の都市、海外の国々などとも結びついています。そのため、観光業がさかんです。豊



雪祭り（雪像）

かな自然を生かした雪祭りなどのイベントや，時計台などの観光地，ラーメンやスープカレーといった有名な食べ物があります。また，北海道日本ハムファイターズやコンサドーレ札幌，レバンガ北海道

などのスポーツチームのホーム（札幌ドーム，札幌厚別公園競技場，北海きたえーる）があり，全国的にも有名なまちです。

○人口：1,918,096人

○面積：1,121.12km²

○市の花：スズラン

○市の木：ライラック

○市の鳥：カッコウ



北海きたえーる



札幌駅



時計台



札幌地下街

10 根室の自然

はじめに

根室では、これまでに多くの野鳥や植物が観察されています。どうして、たくさんの野鳥や植物が根室で見られているのでしょうか。その秘密^{ひみつ}をさぐってみましょう。

豊かな海

根室には毎年、流氷^{りゅうひょう}がやってきます。流氷がたくさんの栄養を根室の海に運んでくるので、春から夏にかけてプランクトン（とても小さい生き物）が大発生します。

また、根室沖の海は、南から来る暖流^{だんりゅう}（暖かい海流）と北から来る寒流^{かんりゅう}（冷たい海流）がぶつかっています。

そのため、えさとなるプランクトンを求めて、北からも南からも多くの魚がやってきます。エトピリカなどの海鳥^{うみどり}は、これらの魚をえさに繁殖^{はんしょく}します。



エトピリカ



アホウドリ

また、魚たちを目当てに、アホウドリの仲間やミズナギドリの仲間が遠い南の海からやってきます。もちろん、クジラやイルカも魚を求めて、豊かな根室の海にやってきます。



ミズナギドリ

湖・干潟・湿地

根室には、いくつかの湖があります。中でも風蓮湖は、渡り鳥の集まる場所として有名です。海とつながっている風蓮湖は、潮の満ち引きによって干潟ができます。干潟や浅瀬には、ゴカイや貝、カニ、水草など、鳥たちのえさが豊富にあります。秋と春に、オオハクチョウやガン、カモなどの渡り鳥が、千島列島を通過してシベリアと日本を行き来します。

秋に海を越えて渡ってきた鳥たちにとって、えさが豊富にある風蓮湖は、日本で最初の休息場所となります。逆に、春には海を渡る前の最後の休憩場所となるのです。

また、夏には、湖岸に広がる湿地や草原で、ノビキタ、ノゴマ、ベニマシコなどの小鳥たちやタンチョウも子育てをします。

そこで根室市では、人と自然が楽しくふれあうこと



春国岱・風蓮湖

のできる場所とするために、「根室市春国岱原生野鳥公園
ネイチャーセンター」をつくりました。春国岱・風蓮湖は、
2005年(平成17年)11
月に、ラムサール条約に登録
され、湿地や水鳥の生息地を
保全しています。



春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

残された森

根室市内には、ミズナラやエゾ
マツなどの大木がある森が一部で
すが残されています。そのような
森では、カラスほどの大きさのク
マゲラ（キツツキの仲間）や、シ
マフクロウ（世界最大のフクロウ）
が暮らしています。

クマゲラは、大きな木に穴をあ
けて子育てをします。また、シマ
フクロウは、魚を食べるフクロウ
で、大きな木にあいた穴に卵を産
んで、その中で子育てをします。
北海道で約140羽しか生息して
いない絶滅の心配されるフクロウ
です。どちらの鳥も、子育てをす
るために大きな木が必要になりま
す。



クマゲラ



シマフクロウ

平地の生き物から高山の生き物まで

根室の標高は、高いところでも82.5mですが、ハクサンチドリ、シコタンキンポウゲ、ガンコウランなど、高い山の上でしか見られない植物が数多く見られます。カラフトルリシジミ（天然記念物のチョウ）も、ほかの場所では高い山の上で見られるチョウです。



ガンコウラン

もちろん、鳥に関しても同じことが言えます。コマドリやルリビタキといった高山に生息する鳥たちが、根室では繁殖しています。



カラフトルリシジミ

なぜ、高い山で見られる植物や生き物たちを根室で見ることができるのでしょうか。それは、根室の寒い夏が原因です。植物が育つ6月から8月の間、根室は深い霧きりが出て気温が上がりません。そのため、根室の気温や環境かんきょうは高い山とよく似にていて、

高山で見られる植物や動物が暮らすことができるのです。もちろん、平地に暮らす植物や動物たちも、普通に見ることができます。

きれいな花々

ノサップ方面には、ワタスゲ・エゾカンゾウ・クロユリや、むらさきのじゅうたんをしきつめたように咲く、ヒオウギアヤメをはじめ数十種類の花がさく北方原生花園があります。

また、落石岬では、サカイツツジの自生地じせいちを見ることができます。



エゾカンゾウ



サカイツツジ

ま と め

根室には、海、森、湿地、干潟、草原など、多くの生物たちが暮らしていくための環境が残されています。また、わたしたちにとってはやっかいな霧も、海に面した根室で、高山の生き物たちが暮らしていくために一役買っているのです。根室は、一か所で様々な場所に暮らす「生き物」と出会うことのできる場所なのです。

1 1 北方領土



根室半島上空から望む歯舞群島

わたしたちの住む根室市は、北海道の東の方にあります。

市の西側は、らくのう酪農がさかんな別海町やはまなちょう浜中町に続いており、東側は、細長い根室半島になって、その先端に納沙布せんたん の さつ ぶ岬みさきがあります。そして、この岬から北東に海をながめると、目の前に小さな島や大きな島がうかんでいます。はほまいぐんどう(歯舞群島)

また、晴れた日には、くなしりどう国後島を見ることができます。これらの島々には、昔からたくさんくの日本人が住み、魚などをとって平和に暮らしていました。でも、今は日本人は一人も住んでいません。そればかりか、自由に行き来することができないのです。『北方領土』と呼んでいる島々は、しこたんどう歯舞群島、えとろふどう色丹島、国後島、択捉島の四島のことです。

(1) 島の位置と広さ

歯舞群島は、納沙布岬からわずか3.7kmしかはなれていない貝殻島をはじめとして、水晶島・秋勇留島・勇留島・志発島・多楽島などからなっています。色丹島は、さらにその北東にある島です。歯舞群島と色丹島は、



納沙布岬からわずか3.7kmに位置する貝殻島

大昔は、根室半島と地つづきでしたが、土地のかんぼつなどによって離れ島になったと言われています。島の多くは、ゆるやかな丘になっていて、沼やがけがあります。

野付半島から16kmはなれているところにある国後島の面積は1,499km²で、別海町の面積よりも少し広く、活火山の爺々岳ちやちやだけが高くそびえています。択捉島は、国後島の北東にあり、『北方領土』の島の中で最大の島で、面積は3,184km²で、散布山ちりつぶやまなどの高い火山が10以上あります。

島名	面積(km ²)	同じくらいの場所
歯舞群島	100	東京都の小笠原諸島(104km ²)
色丹島	253	島根県の隠岐の島町(243km ²)
国後島	1,499	別海町(1,334km ²)
択捉島	3,184	鳥取県(3,507km ²)
合計	5,036	千葉県(5,156km ²)

北方領土の面積



1941年（昭和16年），日本は，アメリカを中心とする国々と第二次世界大戦（太平洋戦争）となり，1945年（昭和20年）に日本は戦争に負けてしまいました。その直後，ソ連軍（ソビエト連邦，^{れんぽう}現在のロシア）が千島列島のみならず北方四島も次々と占領しました。1947年（昭和22年）ころから，残っていた島の住民は日本に送り返されることになり，人々はソ連軍の船に乘せられて樺太（サハリン）まで連れて行かれ，そこから日本の船で，函館・稚内・小樽に上陸しました。人々は，とりあえず親せきや知人をたずねたり，役所の世話を受けてたりして，一

時しのぎをしましたが、大部分の人々は、島と特に関係の深かった根室に來ました。

終戦時、北方四島には約17,000人の日本人が暮らしていましたが、約半数の住民は漁船などで島を脱出して、根室などに來ました。

島別引揚世帯分布状況 昭和20年10月推計（根室・釧路・道外のみの数）

島別 地区別	齒舞群島					色丹島	国後島	択捉島	合計	%
	水晶島	秋勇留島	勇留島	志弐島	多楽島					
在島世帯数	177	18	67	299	194	167	1,420	740	3,082	
根室支庁	132	15	52	174	116	111	995	262	1,857	58.3
釧路支庁	10	2	4	24	24	25	200	99	388	12.6
道外	30	1	11	91	44	10	35	86	308	10

島を開拓^{かいたく}するために努力してきた人々にとって大切なふるさとなのに、現在では自由^{びんざい}に島に行くことができず、その近くの海で自由に魚や海藻^{かいそう}などをとることができないのです。



納沙布岬灯台

根室市は、これらの島に近く、漁業やくらしのうえで、大きなつながりを持っています。もっと大切なことは、『北方領土』と呼ばれているこれらの島々は、わたしたちの国（日本）の領土なのです。

一日もはやく日本に還^{かえ}ってほしいというのが、心からの願いなのです。

□条約からみた北方領土

《日魯通好条約》 にちろつうこうじょうやく

1855年（安政元年）2月7日、伊豆・下田で「日魯通好条約」が結ばれました。その第2条で、両国の国境を択捉島とウルップ島の間で定め、これにより歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方四島は、日本の領土であることが法的に確認されました。また、樺太は両国民の混住こんじゅうの地と定められました。



《樺太千島交換条約》 からふと

1875年（明治8年）に条約を結び、千島列島をロシアから譲り受けるかわりに、樺太全島の権利を放棄しました。

第2条で、譲り受ける千島列島として、シュムシュ島からウルップ島の18島が列挙されています。このことから、北方四島は、ロシアから譲り受けた千島列島でないことがわかります。



《ポーツマス条約》

1905年（明治38年），
日露戦争後に結ばれた条約で，
樺太の北緯50度以南の南樺
太が日本の領土となりました。



《サンフランシスコ平和条約》

1951年（昭和26年）
9月8日に同条約に署名し，
第2条C項で，日本は千島列
島並びに樺太の請求権^{せいきゅうけん}を放棄
しました。しかし，千島列島
には北方四島は含まれていま
せん。

（択捉島が日本最北端です。）



《日ソ共同宣言》

ソ連がサンフランシスコ平和条約に署名していないため，
日本とソ連の間で個別に平和条約を結ぶことになりました。

領土問題を含む平和条約交渉は，正常な外交関係がされ
た後に継続するという合意のもと，1956年（昭和31
年）10月19日に「日ソ共同宣言」が署名され，国交の
回復が図られました。

(2) 島の自然^{し ぜん}

北方領土の島の西側はオホーツク海に面し、東側は太平洋に面していて、暖流^{だんりゅう}（日本海流・黒潮^{くろしお}）と寒流^{かんりゅう}（千島海流・親潮^{おやしお}）が接^{せつ}しているところなので、気候に大きなえいきょうを受けます。

冬の平均気温^{へいきん}はれい下5度前後で、雪は少なく、根室とほとんど変わらない気候です。

夏の気温は、平均16度くらいです。これは、海霧^{かいむ}（ガス）のため日照時間が少なく、そのうえ、オホーツク海から冷たい風^ふが吹いてくるからです。

(3) 島の資源と産業^{し げん さんぎょう}

《漁業》

千島海域^{かいいき}は水産資源が豊^{ゆた}かで、古くから世界の3大漁場のひとつに数えられています。



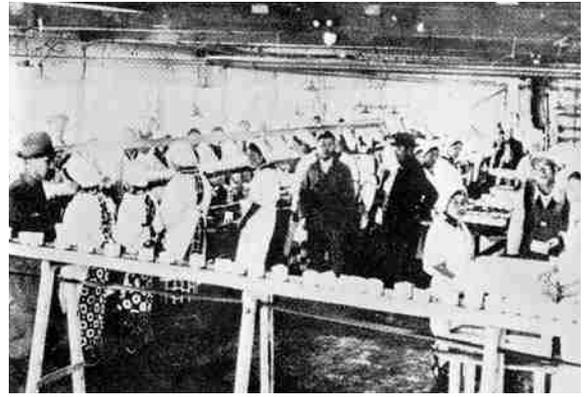
択捉島・トウロのふ化場



択捉島留別川のサケ捕獲場

主な漁獲品^{ぎょかくひん}は、サケ・マス・ニシン・さんま・オヒョウ・カレイ・マグロ・タラバガニ（カニ類）・なまこ・ふじこ・エビ・ホタテ貝・ホッキ貝・こんぶ・のり・ふのりなどが缶詰^{えんぞう}・塩蔵^{かんぞう}・乾燥品^{かんそうひん}などに加工されて、根室や函館に集荷^{しゅうか}されたあと、国内各地に出荷されたり、外国にも輸出^{ゆしゅつ}されました。

齒舞群島は主にこんぶ漁、色丹・国後・択捉島ではサケ・マス漁がさかんでした。サケやマス、カニや捕鯨（クジラ）などの漁業は、大きな会社が直営船や仕込み船によって漁獲され、工場で加工品に製造していました。特に、第一次世界大戦後は、漁具や漁法の改良や水産加工技術が向上し、水産業は大きく進歩しました。



志発島のサケ缶詰工場

※仕込み船

事前に必要な資本や物を貸して、漁獲物で返させる方法で漁業する船

※直営船

会社が自社の船で漁をする船

《農業》

夏は根釧地方よりも温暖なところもあるので、農作物をつくることができました。主な農作物としては、ばれいしょ・大麦・小麦・そば・大根・白菜・ほうれん草などが生産されましたが、水産業が中心でしたので、農業を専業とする人は少なく、日常生活に必要な野菜類を栽培していました。

《畜産業》

牧畜に適した気候でしたが、漁業の副業に馬を飼育する程度で、牧畜を専業とする人はいませんでした。馬は自然放牧されていて、じょうぶな馬が多く、1年に300頭くらい農耕馬として本州各地に移出されていました。馬は、

陸上の運搬のほか、漁船を巻き上げる仕事や、こんぶなどの生産物を運搬するのに使われました。

馬のほかには、牛・めん羊・きつねなどが飼育されていました。

《鉦 業》

千島火山帯に属する国後島・択捉島には、金・銀・銅・鉛・硫黄などの鉦物資源がありました。しかし、交通が不便で生産費が高つくため、開発は進んでいませんでした。それでも、昭和に入ってからわずかながら生産していた鉦山がありました。

《林 業》

国後島・択捉島における林業は、水産業に次いでさかんでした。山林は、ほとんどが国有林です。

樹木の種類は、針葉樹のとど松・えぞ松・広葉樹のしらかば・ならの木などでした。これらの木材の大部分は、原木のまま根室や函館方面に運ばれていました。



択捉島の内保国有林

島内の製材所^{せいざいしよ}では、建築材や魚箱材として利用され、また、まきとして燃料に使われたり、炭の原材料としても利用されていました。



国後島硫黄山

(4) 島の人口

島のおもな産業は水産業でしたから、住民の大部分は漁業と、これにつながる仕事をして生活していました。

昭和15年の人口調査ちょうさによると、4つの島で2,877世帯せたい、15,512人でした。そのうち、水産業は2,070世帯で、約72%をしめていました。そのほか、公務員こうむいん・商業しょうぎょう・鉱工業こうこうぎょう・運送業しよくぎょうなどがおもな職業でした。

漁期りょうきには、根室や函館、本州方面から5,000人以上の出稼ぎの人が来たので、その時期はいちじるしく人口が増加しました。これらの人々は、漁期が終わると工場えいどうにわずかな人が越冬するだけで、あとは引きあげていました。

(5) 島の人々の生活

島の生活に必要な日用品ゆうびんぶつや郵便物などはもちろん、生産物もすべて海上輸送ゆそうでした。島の中は道路が不完全なため、おおかた海路にたよっていました。

海上交通は、おもに根室や函館と結ばれ、船の大きさは5百トン級から千トン級のものが1,2せきありましたが、ほとんどは、40トンから70トンくらいのものでした。

道路はせまく、坂が急なため、馬の背せに荷



馬での移動風景

をつけて、波打ちぎわの固い砂地すなちを道路のかわりに通行していました。

大正時代の終わりになると、北方領土にも町村制ちやうそんせいが整えられ、色丹島に1村、国後島に2村、択捉島に3村の合わせて6村が置かれました。歯舞群島は、歯舞村（今の根室市）に属ぞくしていました。

島名	村名
歯舞群島	歯舞村（今の根室市 <small>ぞく</small> に属している）
色丹島	色丹村 <small>しこたんむら</small>
国後島	泊村 <small>とまりむら</small> 留夜別村 <small>るやべつむら</small>
択捉島	留別村 <small>るべつむら</small> 紗那村 <small>しゃなむら</small> 薬取村 <small>しべとろむら</small>

（択捉島は、日本の最北端の島です。）

そのころの家は、ほとんどが木造もくぞう、征屋根まさやねの平屋づくりの小さなものでした。

各村には小学校があり、その数は分教場も入れると39校ありました。



小学校での運動会

島では、ごらく施設えいや映画館がかんなどはありませんでした。

だから、人々の楽しみは小学校の運動会や学芸会ちいき、地域の人々による演芸会えんげいかいなどでした。中でも、1年に1回のお祭り



お祭りの様子

りは、村じゅうをあげて、大変にぎやかに行われました。

生活に必要な物は、船で運ばれていましたから、暴風ほうふうや流氷の時期には、航海できなくなるので大変こま困りました。

食料品などは、翌年よくねんの春までの分を越冬用えっとうようとしてたくわえておきました。新聞や郵便物ゆうびんぶつなどは、長い間とだえることがしばしばありました。

一番困ったことは、急病人やけが人が出たときです。病院がきわめて少なく、医者も十数名と少なかったので、重病人は船で根室などに送られましたが、手当が間に合わないこともしばしばありました。

このように、人々の生活は苦しいことや不便なことも多かったのですが、魚や木材など、豊かな資源にめぐまれていたことから、生活が豊かで、島をふるさとに決めた人々は祖先そせんの墓はかも建て、明るい希望を持って、いっしょうけんめいに努力していったのです。

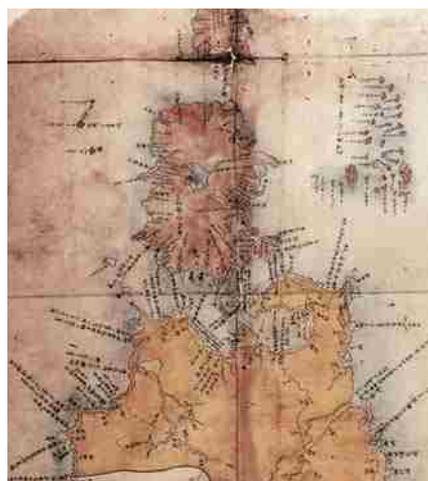
北方領土元居住者の状況

(人)

島・村別	S20.8.15 現在		H20.4.1 現在	H25.9.30 現在							
	元居住者		新元居住者	元居住者	新元居住者	小計	2世	3世	4世	計	
	世帯	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数		
歯舞群島	水晶島	154	986	13	409	13	422	988	638	15	2,063
	勇留島	79	501	3	191	2	193	480	339	6	1,018
	秋勇留島	14	88	1	36	1	37	100	72	0	209
	志発島	374	2,249	22	930	22	952	2,250	1,602	17	4,821
	多楽島	231	1,457	13	584	13	597	1,278	839	19	2,733
	計	852	5,281	52	2,150	51	2,201	5,096	3,490	57	10,844
色丹島	206	1,038	19	369	17	386	961	765	8	2,120	
国後島	泊村	894	4,864	108	1,807	103	1,910	4,673	3,581	57	10,221
	留夜別村	433	2,500	40	972	39	1,011	2,494	2,096	32	5,633
	計	1,327	7,364	148	2,779	142	2,921	7,167	5,677	89	15,854
択捉島	留別村	424	2,258	78	874	76	950	2,094	1,446	9	4,499
	紗那村	226	1,001	36	368	34	402	885	588	6	1,881
	薬取村	89	349	11	105	11	116	267	154	1	538
	計	739	3,608	125	1,347	121	1,468	3,246	2,188	16	6,918
合計	3,124	17,291	344	6,645	331	6,976	16,470	12,120	170	35,736	
平均年齢				79.1	66.9	78.6	50.2	28.2	15.7		

(6) 北方領土の歴史

北方の島々と北海道との間には古くから交通があり、多くの交易が行われていました。当時の北海道を治めていた松前藩まつまえはんの記録の「新羅之記しんらのき録ろく」によると、1615年（元和元年）に、メナシ地方に住んでいたアイヌの人たちがラッコの皮を松前藩に貢物みつぎものとして送り、松前藩はこれを徳川幕府ぼくふ けんじょうに献上したと記録されています。



正保御国絵図

1644年（正保元年）、松前藩が幕府に提出した地図しょうほおくにえず（正保御国絵図）には、知床半島と納沙布岬の東北に大小39の島々の中の34の島には、「くなしり」、「えとほろ」、「うるふ」などの名前が書かれていました。

江戸幕府は、えぞ地や北方領土などの様子をくわしく知るため、1785年（天明5年）から最上徳内もがみとくないを国後島と択捉島はけんに派遣し、現地の様子をくわしく調べさせました。

また、1798年（寛政10年）かんせいには、大規模な調査隊を派遣し、近藤重蔵こんどうじゅうぞうが最上徳内とともに択捉島にわたり、「大日本恵登呂府だいにほんえとろふ」と書いた標柱ひょうちゆうを建てました。



標柱「大日本恵登呂府」

さらに、1799年（寛政11年）には、高田屋嘉兵衛が国後・択捉間に航路を開きました。このように、北方領土は昔から日本の領土なのです。

(7) 北方領土の日

1855年（安政元年）2月7日、江戸幕府はロシア帝国（現在のロシア）と「日魯通好条約」（国同士の約束）を結びました。この条約で、日本とロシア帝国の国境は、択捉島とウルップ島の間とし、択捉島よりも南の島々は日本の領土、ウルップ島より北の島々はロシア帝国の領土と決めました。この条約により、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は、日本の領土であることが正式に決められたのです。

そこで、この日にちなんで国が、2月7日を『北方領土の日』としました。（1981年（昭和56年））

毎年この日には、「北方領土返還要求全国大会」（東京都）や「『北方領土の日』根室管内住民大会」（根室市）などが開かれています。

『北方領土の日』以外にも、根室市では、「北方領土返還要求根室市民大会」（8月）や「北方領土ノサップ岬マラソン大会」（8月）、「北方領土まで歩こう会」（9月）を開催しています。

国民みんなの願いを訴えるこのような運動を「北方領土返還要求運動」といいます。

北方領土返還要求運動は、終戦の年（昭



北方領土まで歩こう会

和20年12年1日），当時の安藤石典根室町長が連合

国最高司令官し れいかんに対し、「四島は古くから日本の領土であり、地理的にも歴史的にも北海道ふ ずいに付随する。」との陳述書ちん じゆつしょの提出ていしゆつが始まりとされています。

(8) 北方四島交流

① 北方四島交流が始まるまでに

北方領土問題かいけつの解決に向けて、日本とソ連（現在のロシア）との話し合いが戦後60年以上続けられています。昭和31年（1956年）には、国と国との間で「日ソ共同宣言きょうどう」が交わかされました。「平和条約」（国と国とが戦争せんそうをせず互いに平和な関係を続けるという約束やくそく）を結ぶことができたときには、北方領土の一部を日本に返すというものでした。ソビエト連邦れんぽうがロシア連邦という呼び名よに変わってからも、ずっと話し合いが続けられてきています。

② 北方四島交流とは

北方領土はもともと日本の領土ですから、自由に北方領土に行き来できるはずなのですが、現実げんじつには行き来できません。

1991年（平成3年）、ソビエト連邦のゴルバチョフ大統領だいてうりょうが日本に来て話し合い、お互いにもっと自由に交流しあえるように、「ビザ」がなくても相互そうごに行き来できることが決まりました。両国の住民が、お互いの立場りかいを理解し、本当に仲良くしていくために、北方領土の問題を解決することが大切であることを確認かくにんするためです。

「ビザ」とは、外国へ入国するときに必要な「許可証」^{きょ かしょう}のことです。両国の住民が訪問し合うときには、外務大臣^{が い む}が出す「身分証明書」^{み ぶんしょうめい しょ}だけで行き来ができる仕組みにしました。ビザがなくても相互に行き来できるので「ビザなし交流」と呼んでいます。

1992年度（平成4年度）から2013年度（平成25年度）までの22年間で日本から北方領土^{おとず}を訪れた人は、295回で11,473人、北方領土から日本を訪れたロシア人は、207回で8,282人となっています。

ビザなし交流身分証明

③ 北方四島交流のようす

北方四島交流は、北方領土の元島民やその子ども、孫のほか、「北方領土返還要求運動」^{ほうとう}に関係している人、報道関係者や研究者などが参加できます。



北方四島交流への出発の様子

日本を訪問したロシア人を泊めてあげた人も参加できます。大人だけでなく、中学生や高校生が代表で行くこともあります。

北方領土では、役場や学校を訪ねたり、ロシア人との

交流や、自然の様子を
見たりします。

④ 北方四島自由訪問

北方四島への自由訪
問（故郷への訪問）は、
元島民及びその家族に

よる北方四島の居住地等への旅券・査証（ビザ）なしに
よる訪問があります。

1999年（平成11年）9月11・12日に第一陣
訪問団44人が志発島を訪問以来、北方四島に毎年3～
7回ほど実施されています。



スポーツ交流（国後島）

(9) 北方墓参の訪問

1964年（昭和39年）から北海道が主催して、北
方領土の島々にある日本人のお墓参りのために、元島民



北方墓参の様子

や子孫が訪問できるようにな
りました。北海道が1年間に
数回行う墓参には、外務大臣
の発行する身分証明書だけで
参加することができます。2

013年度（平成25年度）
まで98回で、のべ参加者数

は、4,300名（遺族は3,323名）に達しています。

(10) 安全操業^{そうぎょう}

北方四島・千島列島近海はよい漁場として知られ水産業が発達し、北方四島の人々はもちろんのこと、根室の人々の生活を支えてきました。根室の多くの漁民は、戦前より貝殻島^{かいがらじま}周辺はこんぶの好漁場で、こんぶをとって生計をたてていました。水産資源が豊かなことは今も変わりなく、とても大切な漁場です。領土の沿岸から3海里（約5.5 km）がその国の主権^{しゅけん}が及ぶ領海でしたが、12海里（約22 km）までの海域がその国の領海となりました。

納沙布岬からわずか3.7 kmの距離ですが、ロシアが主張する領海となっているので、危険をおかしてまでも出漁するとだ^ほ捕されてしまいます。最



初にだ捕されたのは、1946年（昭和21年）に多楽島付近を航行していた根室の漁船でした。毎年だ捕が続いて、千隻^{せき}以上の漁船がソ連の監視船にだ捕され、8千人以上の漁船員が取り調べを受けました。漁船員は、取り調べや裁判にかけられて、刑の期間が終わると、日本の巡視船が引き取りに行きます。

不幸にして長い間^{よくりゅう}抑留されると、残された家族の生活は苦しくなり、船主もまた、大切な漁船を失いますので、再び船を用意して漁を始めるためには、大変な苦勞になっていました。そのために、国や北海道・根室市では、

だ捕見^{みまいきん}舞金などいろいろな制度をつくって援助やはげましの手をさしのべていましたが，十分に補うことができません。そこで，国・北海道・市町村・水産関係団体では，安全に出漁する方法（安全操業）をいろいろ考え，機会あるごとに話し合いが持たれています。

漁民の生活を守るために，ソ連と漁業問題について交渉を重ねるなど努力した結果，協定が結ばれました。この協定の内容は，魚をとる場所が指定されたり，魚の種類や漁獲する量の制限，出漁するための手続きなどがあり，思うように魚をとることができません。

漁民の安全操業を願う声が高まる中，1963年（昭和38年）に，大日本水産界の高崎達之助会長が中心となってソ連と話し合いが持たれて，日本の漁船が貝殻島付近で安全操業できる「日口間^{こんぶさいしゅ}昆布採取協定」が結ばれました。2012年度（平成24年度）は，操業^{せき}隻数は262隻，4,144トンのこんぶ採取量でした。

1977年（昭和52年）7月，日本も領海を3海里から12海里とし，漁業^{せんかん}専管水域も200海里と決めましたが，ロシアの200海里の線引きが大きくなりすぎていたので，北方四島周辺で安心して操業できるように，早期の解決が望まれています。

(11) 北方領土のこれから

北方領土が間近に見えるまち「根室」は、北方領土と深く関わっています。街には、ロシア語の看板もあります。ロシアの人を見かけたこともあるでしょう。

北方領土は日本の領土なのですが、ロシアに占領されていること、つまり「北方領土問題」は60年以上の長い間、解決されずに今に至っています。

しかし、今は北方四島交流などでお互いをよく知ろうとしています。また、日本とロシア両国間でたびたび話し合いが持たれ、問題の解決に向かっています。

わたしたちがやらなければならないことは、まず、「北方領土を知る」ことです。北方領土の歴史や北方領土に住んでいるロシア人の考えを知ることです。また、豊かな自然、魚の資源などをお互いに大切にするなど、様々な見方も必要になってきています。



いつの日か北方領土が還り、自由に行き来でき、日本人もロシア人も、みんなが幸せになる日を夢見て、勉強していくことが大切です。

北海道立北方四島交流センター「ニ・ホ・ロ」



しま
四島のかげ橋（望郷の岬公園）

【北方領土学習に使える資料（一例）】

- 『われらの北方領土（本編・資料編）2012年版』〔外務省〕
- 『^{しま}四島くん，^{りょうこ}領子ちゃんものしり博士の北方領土とは』
〔内閣府北方対策本部企画調査係〕
- 『われらの四島の思い出』〔北方領土復帰期成同盟〕
- 『北方領土ってどんなところ？』〔北方領土復帰期成同盟〕
- 『小学生のよみもの「ほっぼうりょうど」』〔北方領土復帰期成同盟〕
- 『小学生用北方領土学習資料 2013年版』〔北方領土復帰期成同盟〕
- 『日本の領土「北方領土」』〔根室市・北方領土問題対策協会〕
- 『「四島とわたし」絵本コンクール』（北方領土隣接地域振興根室管内市町連絡協議会）
- 『四島ばなし（DVD）～島民は語る!! 想いは今も（歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島編）』（北方領土問題青年会議）
- 『小学生のためのほっぼうりょうど（DVD）』（北方領土復帰期成同盟）